

# 自治大卒業生の声

## 自治大学校卒業生（第1部・第2部特別課程第50期）

兵庫県 企画部総合政策課 笹倉 麻衣

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

### 1. はじめに

法制集中研修<sup>(※)</sup>の修了から約3か月、第1部・第2部特別課程の修了から1か月が経ちました。立川で過ごした日々がすでに遠く感じられる中、自治大で共に学んだ同期から時折届くメッセージに元気をもらいながら、日々の業務に励んでいます。

両課程を通じて約130人の同期と共に過ごした2か月間は、私にとってかけがえのない宝物です。本稿では、その思い出を振り返りながら、自治大での研修について綴らせていただきたいと思います。

### 2. 受講を希望した経緯について

県庁職員の宿命とも言えるかもしれませんが、自分と全く同じ業務に携わる他自治体の職員と意見交換をする機会は決して多くありません（全国で1/47です）。また、部署によっては、他の都道府県や市町村とのつながりがほとんどない場合もあります。

そのような環境の中で、自身の視野を広げ、人とのつながりを増やしたいと考え、自治大で学ぶことを志望し、運よく受講の機会をいただけたことを大変ありがたく思っています。

### 3. 入校準備について

入校の約1か月前から、eラーニングや事前課題に取り組みました。日々の業務と並行しての課題対応は大変ではありましたが、課題を進める中で他部局の職員から話を伺

う機会があり、各部局が直面している課題への理解を深めることができました。事前課題を通じて、県政課題をより多角的に捉える視点が養われたと感じています。

また、持ち物については、張り切ってあれもこれもと準備してしまいましたが、立川駅周辺には大きな商業施設があり、自治大から徒歩圏内に某複合商業施設もあります。もし次の機会があるなら(!?)、荷物は必要最低限にして、現地で調達すると思います。

### 4. 法制集中研修について

私は経験者採用として民間企業を経て、9年前に兵庫県庁に入庁しました。実務に関わる法令知識の多くは、入庁後に独学で身に付けたものであり、体系的に学べていないことに漠然とした不安を感じていました。

法令については、第1部・第2部特別課程やeラーニングでも学ぶことはできますが、研修に集中できる環境でしっかりと学びたいと考え、あわせて、法制集中研修も受講しました。職場や家族も快く送り出してくれた、受講できたことに感謝しています。

市町村職員を対象とした第2部課程と合同で、3週間という限られた期間の中で6課目を学ぶ、非常に密度の高い日程でしたが、行政法や地方公務員法など、実務に直結する内容が多く、自身の業務と法律との結びつきを改めて実感することができました。

最終週には効果測定が行われ、試験に向けて寮の談話室で皆と勉強したり、分からないところを教え合ったりと、社会人になってからはもう経験することはないと思っ

ていた「学生生活」を味わうことができ、青春を感じる時間でもありました。



【洗心寮4階メンバーとの卒業旅行】

## 5. 第1部・第2部特別課程について

法制集中研修が主にインプット中心であったのに対し、第1部・第2部特別課程ではアウトプット型の科目も多く、課題の準備などで毎日が慌ただしく過ぎていきました。

特に印象に残っているのは、ディベート演習です。将来の議会答弁を意識しながら、主張に沿った根拠資料を探し、AIも活用しつつ、相手方からの反論を想定して対応を考える作業は非常に実践的でした。一人では価値観がどうしても固定化しがちな中、チームメンバーやAIなど、多様な視点を取り入れながら、より良い主張を構築していく過程は、今後の行政実務においても大いに役立つと感じています。

また、各分野の第一人者による幅広い講義を受けられることも、自治大の大きな魅力の一つです（校長先生のお言葉を借りれば「天井の海老の1つ」）。普段の業務ではどうしても担当分野に関心が限られがちですが、政策を考えるうえで必要な国や世界レベルの動向を学ぶことができ、県庁に戻ってからも業務に活かすことができます。

## 6. 自治大で生活について

ここまで主に研修内容について書いてきましたが、自治大を語るうえで欠かせない

のが寮生活です。毎晩のように、各自治体自慢のお酒や料理を囲みながら、仕事の話からプライベートの話まで、話題が尽きることはありませんでした。

社会人になってから、家族以外と長期間、寝食を共にする機会はほとんどありませんが、この年齢になって多くの友人を得ることができたことを、心からありがたく思っています。

研修後半は課題に追われ、正直「仕事をしている時よりも大変かもしれない」と感じる場面もありましたが、仲間と助け合いながら何とか乗り越えることができました。

また、美術館や博物館を巡ることが好きなため、休日にさまざまな施設を訪れられたことも、良い思い出です。



【麗澤寮5階メンバーとの卒業パーティー】

## 7. さいごに

もし、自治大への派遣を迷っている方がこの文章を読んでくださっているのであれば、ぜひ一歩踏み出して手を挙げてみてください。大変なこともあります、それ以上に得られるものが大きく、人生や仕事に対する価値観が変わるような、非常に貴重な時間を過ごすことができると思います。

最後に、派遣にあたり快く送り出してくださいました職場の皆様、離れていても支えてくれた家族、そして最高の2か月間を共に過ごした同期の皆様に、心より感謝申し上げます。

(※)令和8年度から法制集中研修は法制基礎研修コースに改編。